



どじょう先生の マメ知識



天気予報で聞く言葉の意味をおぼえよう

◆雨の強さと降り方

(平成12年8月作成、平成14年1月一部改正)

1時間雨量 (mm)	人の受ける イメージ	人への影響	災害が発生する状況
10以上～ 20未満	ザーザーと 降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	●この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20以上～ 30未満	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる	●溝や下水、小さな川があふれ、小さい規模の崖崩れが始まる
30以上～ 50未満	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしてもぬれる	●山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 ●都市では下水管から雨水があふれる
50以上～ 80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘はまったく役に立たなくなる	●都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある ●マンホールから水がはげしくあふれる ●土石流が起りやすい ●多くの災害が発生する
80以上～	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる	傘はまったく役に立たなくなる	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、 厳重な注意が必要

◆台風とはこんなもの！

赤道近くの海の上で発生した「熱帯低気圧」が、最大風速(中央付近)17.2メートル以上になると「台風」と呼びます。風の勢力が17.2メートル以下になると「温帯低気圧」と呼ばれるようになります。
※「熱帯低気圧」とは高温の海面から蒸発する水蒸気がエネルギー源になっています。



台風の大きさと強さ(風速15m/s以上の強風域)

※半径500kmの台風って、九州～西日本をすっぽり包むぐらいの大きさがあるんだよ!

階級	風速15m/s以上の半径	階級	中心付近の最大風速
大型(大きい)	500～800km未満	強い	33～44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44～54m/s未満
		猛烈な	55m/s以上

「大型で非常に強い台風が接近しています」ってよく聞くよね。

◆風の強さ

平均風速(m/s)	予報用語	状態
10～15m未満	やや強い風	歩きにくい、傘がさせない
15～20m未満	強い風	風に向かって歩くと転倒する
20～25m未満	非常に強い風	何かにつかまらないと転倒する
25～30m未満	非常に強い風	立ってられない(屋外行動は危険)
30m以上	猛烈な風	立ってられない(屋外行動は危険)

mm: ミリメートル
m: メートル
km: キロメートル
m/s: メートル毎秒
(1秒間の速さ)

防災に
天気予報のチェックは
欠かせません!
ことばの意味を
しっかり頭に入れておこう!

